

令和8年度入学生対象

別記様式1

主専攻プログラム詳述書

開設学部（学科）名〔歯学部歯学科〕

プログラムの名称（和文） （英文）	歯学プログラム ----- Program of Dentistry
1. 取得できる学位 学士（歯学）	
2. 概要 歯学部では、学際性、総合性、創造性、国際性を備えた歯科医療人の育成を基本理念とした「歯学プログラム」を提供します。本プログラムが提示する到達目標を達成するために、以下に示す内容の教育を実践します。 (1) 生命科学や歯科医学の既存学問体系を尊重し、創出された研究法や知識・技能を教授するとともに、生命科学と歯科医学を融合させた新しい学問体系のバイオデンタル教育 (2) 必要な知識や情報を収集・分析し、そこから新たに思索することができ多角的な視野から課題を総合的に解決し、自己の責任において判断・行動しようとする態度や豊かな人間性を備えた歯科医療人を育成する教育 (3) 日本語と外国語の表現力・理解力及び豊かな感性を涵養し、異文化・異領域の人びとに対するコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を培う教育	
3. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針・プログラムの到達目標） 歯学プログラムでは、以下の能力を身につけ、教育課程の定める単位を修得した者に学士（歯学）の学位を授与します。 (1) 豊かな人間性を備え、専門職としての歯科医師の責務を理解し、これを実践するための知識、技能、態度を身につけている。 (2) 研究の重要性を認識し、科学的思考力と創造性を備えている。 (3) 論理的思考に基づく洞察力と問題解決能力を備え、生涯を通じて学習することができる。 (4) 患者やその家族、医療関係者との適切なコミュニケーションができる。 (5) 歯科医療に関連した社会の変化や科学の進歩に対応できる。 (6) 多文化・多領域との共存と理解を深め、国際社会で自己の見解を積極的に主張できる。	
4. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針） 歯学プログラムでは、プログラムが掲げる到達目標を学生が達成できるように、以下の方針の下に教育課程を編成し、実践します。 (1) 教養教育では、専門教育に必要な学問的基盤を確立させるとともに、学際的・総合的な知識や方法論、視座を修得させ、医療人に必要な幅広い教養と規範意識を備えた豊かな人間性を育む。 (2) 教養教育の外国語科目の履修により基礎的英語力を高めるとともに、日本語・英語併用で行われる専門教育（Dual Linguistic Education）を実施し、国際歯学コース生や短期留学生と学生生活を共にすることにより、様々な国の文化への共感と理解を深め、国際交流能力を向上させる。 (3) 専門教育では、生命科学に基づく歯科医療を実践するためのバイオデンタル教育を実施し、生命科学	

の基礎知識や技能，歯科医師に必要な専門知識や臨床基礎技能を修得させるとともに，科学リテラシーや研究倫理，医の倫理についての理解を深め，実践的な歯学研究教育により科学的思考力と創造性を育む。

(4) 早期臨床体験実習を通して，将来の歯科医療人としての自覚を促すとともに，患者中心の歯科医療，患者やその家族，医療関係者との良好なコミュニケーション構築の重要性，歯科医療のニーズの多様性を認識させる。さらに，臨床実習により，国民が求める質の高い歯科医療を提供し，地域社会における役割を果たすために必要な視座，知識・技能・態度を修得させる。

(5) 自己主導型学習としてProblem Based Learning (PBL) などを取り入れながら，全教育課程を通じた統合的な歯科医学教育を行うことにより，医療人としてのプロフェッショナルリズムを涵養するとともに，問題解決能力，批判的思考力，生涯学習能力を向上させ，全人的な考え方に基づく歯科医療に必要な能力と国際社会に通用する総合力を培う。

学修の成果は，歯学プログラムによる各科目の成績評価と本教育プログラムで設定する到達目標への到達度評価に，社会・国民の要請に応え優れた歯科医師の育成に向けて臨床実習開始前に実施される共用試験 Computer Based Testing (CBT) ， Objective Structured Clinical Examination (OSCE) 及び診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験を加えて評価する。

5. 開始時期・受入条件

1年次（入学時）

6. 取得可能な資格

歯科医師国家試験受験資格（卒業と同時に得られる）

7. 授業科目及び授業内容

※授業科目は，別紙1-1及び別紙1-2の履修表を参照すること。

※授業内容は，各年度に公開されるシラバスを参照すること。

8. 学習の成果

各学期末に，学習の成果の評価項目ごとに，評価基準を示し，達成水準を明示する。

各評価項目に対応した科目の成績評価をS=4, A=3, B=2, C=1と数値に変換した上で，加重値を加味し算出した評価基準値に基づき，入学してからその学期までの学習の成果を「極めて優秀(Excellent)」，「優秀(Very Good)」，「良好(Good)」の3段階で示す。

成績評価	数値変換
S（秀：90点以上）	4
A（優：80～89点）	3
B（良：70～79点）	2
C（可：60～69点）	1

学習の成果	評価基準値
極めて優秀(Excellent)	3.00～4.00
優秀(Very Good)	2.00～2.99
良好(Good)	1.00～1.99

※別紙2の評価項目と評価基準との関係を参照すること。

※別紙3の評価項目と授業科目との関係を参照すること。

※別紙4のカリキュラムマップを参照すること。

プログラムによる学習の成果（具体的に身につく知識・技能・態度）

○知識・理解

1. 人文科学や自然科学などの一般教養に関する知識・理解
2. 医の原則に関する知識
3. 基礎及び臨床歯科医学に関する知識
4. 隣接医学に関する知識
5. 生命科学に関する知識
6. 外国語と外国文化に関する知識・理解

○能力・技能

1. 歯科領域の疾患の予防・診察・検査・診断・治療に関する基本的技能
2. 実験や発表を行うために必要な基本的技能
3. 生命科学や歯科医学の情報を適切に取捨選択・整理・発信する技能

○総合的な力

1. 豊かな人間性，専門職の歯科医師としての責務の理解，これを実践するための基礎的知識，技能，態度を含む総合力
2. 研究の重要性の認識，科学的思考力と創造性
3. 批判的思考力と問題解決能力，及び生涯学習能力
4. 患者や家族，他の医療者との適切なコミュニケーション能力
5. 歯科医療に関連した社会の変化や科学の進歩への対応能力
6. 多様な文化・領域との共存と連携，国際交流能力

9. 卒業論文（卒業研究）（位置づけ，配属方法，時期等）

卒業論文は課さない。

10. 責任体制

本プログラムの計画・実施は，歯学部学部長室会議及び歯学部教授会が行う。評価検討・対処は，歯学部長が歯学部学部長室会議及び歯学部教授会に諮問し，答申内容を尊重して歯学部長が実行する。

＜歯学科 歯学プログラム＞

区分	科目区分		要修得単位数	授 業 科 目 等	単位数	履修区分	履修年次（中段：年次/下段：セメスター）（注1）				
							1		2		
							1	2	3	4	
盤平 科和 目基	平 和 科 目		2		2	選 択 必 修			○		
	平 和 共 修 科 目		1		1	必 修	○				
基大 礎学 教目 育	大 学 教 育 入 門		2	大学教育入門	2	必 修	○				
	教 養 ゼ ミ		2	教養ゼミ	2	必 修	○				
	展 開 ゼ ミ		0	展開ゼミ	1	自由選択	○	○			
共 通 科 目	領 域 科 目		2	全身の健康と口腔科学 I	2	必 修	○				
			2	全身の健康と口腔科学 II	2	必 修		○			
			4	人文社会科学系科目群から	1又は2	選 択 必 修	○	○			
	外 国 語 科 目	英 語	コ ミュ ニ ケー ション I	2	コミュニケーション I A	1	必 修 (注2) (注3)	○			
				1	コミュニケーション I B	1		○			
		コ ミュ ニ ケー ション II	2	コミュニケーション II A	1			○			
			1	コミュニケーション II B	1			○			
		2	1	コミュニケーション演習 I	1	○					
			1	コミュニケーション演習 II	1			○			
	初 修 外 国 語 (ドイツ語, フランス語, 中国語のうちから1言語選 択)	0	1	ベーシック外国語 I	1	自 由 選 択	○				
			1	ベーシック外国語 II	1		○				
			1	ベーシック外国語 III	1					○	
			1	ベーシック外国語 IV	1					○	
	情 報 ・ データサイエンス科目	2		情報・データ科学入門	2	必 修 (注4)	○				
		2		情報・データサイエンス科目から	2	選 択 必 修	○	○			
健 康 ス ポ ー ツ 科 目	2		健康スポーツ科学	2	選 択 必 修	○	○				
	1		スポーツ実習A	1		○	○				
	1		スポーツ実習B	1		○	○				
社 会 連 携 科 目		0		1又は2	自 由 選 択	○	○				
基 礎 科 目	6		2	一般化学	2	必 修	○				
			2	細胞科学	2			○			
			2	Development of International Collaboration in Medical Science	2		○				
	4		2	基礎微積分学	2	選 択 必 修	○				
			2	基礎線形代数学	2			○			
			2	基礎物理学 I	2			○			
			2	初修物理学(注5)	2		○				
		2	初修生物学(注6)	2	○						
計		37									

注1：○印は標準履修セメスターを表している。なお、当該セメスターで単位を修得できなかった場合はこれ以降に履修することも可能である。授業科目により実際に開講するセメスターが異なる場合があるので、毎年度発行する教養教育科目授業時間割等で確認すること。

注2：要修得単位数を超えて修得した領域科目及び社会連携科目のうち、シラバスの使用言語欄が「E：英語」の科目の履修により修得した単位を、卒業に必要な英語の単位(6単位)に代えることが可能である。詳細は、学生便覧の教養教育の項を参照すること。

注3：自学自習による「オンライン英語演習 I・II・III」の履修により修得した単位を、卒業に必要な英語の単位(6単位)に代えることが可能である。また、外国語技能検定試験、語学研修による単位認定制度もある。詳細は、学生便覧の教養教育の外国語科目に関する項及び「外国語技能検定試験等による単位認定の取扱いについて」を参照すること。

注4：「情報・データ科学入門」の単位を修得できなかった場合は、情報・データサイエンス科目から履修することができる。

注5：大学入学共通テストにおいて物理を選択していない者は、「初修物理学」を必修として履修すること。なお大学入学共通テストにおいて物理を選択した者が「初修物理学」を履修しても卒業要件単位には含まない。

注6：大学入学共通テストにおいて生物を選択していない者は、「初修生物学」を必修として履修すること。なお大学入学共通テストにおいて生物を選択した者が「初修生物学」を履修しても卒業要件単位には含まない。

〈歯学科 歯学プログラム〉

科目区分	授 業 科 目	最低修得 単位数	履修年次 (中段：年次/下段：Semester)												備 考			
			1		2		3		4		5		6					
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
基 合 臨 幹 床 系 科 目	◎ 歯科放射線学Ⅰ	1					1											
	◎ 歯科放射線学Ⅱ	2						2										
	◎ 歯科放射線学基礎演習	1						1										
	◎ 診断・検査学	2						2										
	◎ 口腔衛生学	2					2											
	◎ 衛生学・口腔衛生学基礎実習Ⅰ	1						1										
	◎ 衛生学・口腔衛生学基礎実習Ⅱ	1							1									
	◎ 歯科麻酔学	2							2									
	◎ 歯科麻酔学基礎演習	1							1									
	◎ 歯内療法学Ⅰ	1							1									
	◎ 歯内療法学Ⅱ	1								1								
	◎ 保存修復学Ⅰ	1								1								
	◎ 保存修復学Ⅱ	1									1							
	◎ 歯内療法・保存修復学基礎実習Ⅰ	1										1						
	◎ 歯内療法・保存修復学基礎実習Ⅱ	1											1					
	◎ 歯周病学Ⅰ	1								1								
	◎ 歯周病学Ⅱ	2									2							
	◎ 歯周療法学基礎実習Ⅰ	1										1						
	◎ 歯周療法学基礎実習Ⅱ	1											1					
	◎ 顎機能学	2									2							
	◎ 補綴学Ⅰ	1									1							
	◎ 補綴学Ⅱ	2										2						
	◎ 義歯補綴学Ⅰ	2											2					
	◎ 義歯補綴学Ⅱ	1												1				
	◎ 口腔インプラント学	2										2						
	◎ 歯冠補綴治療学基礎実習Ⅰ	1											1					
	◎ 歯冠補綴治療学基礎実習Ⅱ	1												1				
	◎ 歯列補綴治療学基礎実習Ⅰ	1													1			
	◎ 歯列補綴治療学基礎実習Ⅱ	1														1		
	◎ 無歯顎補綴治療学基礎実習Ⅰ	1														1		
	◎ 無歯顎補綴治療学基礎実習Ⅱ	1															1	
	◎ 部分無歯顎補綴治療学基礎実習Ⅰ	1															1	
	◎ 部分無歯顎補綴治療学基礎実習Ⅱ	1																1
	◎ 口腔外科学Ⅰ	2															2	
	◎ 口腔外科学Ⅱ	2																2
	◎ 顎外科学Ⅰ	2																2
	◎ 顎外科学Ⅱ	2																2
	◎ 顎口腔医療学基礎実習Ⅰ	1																1
	◎ 顎口腔医療学基礎実習Ⅱ	1																1
	◎ 顎口腔医療学基礎実習Ⅲ	1																1
	◎ 顎口腔医療学基礎実習Ⅳ	1																1
	◎ 歯科矯正学Ⅰ	2																2
◎ 歯科矯正学Ⅱ	2																2	
◎ 歯科矯正学基礎実習Ⅰ	1																1	
◎ 歯科矯正学基礎実習Ⅱ	1																1	
◎ 小児歯科学Ⅰ	2																2	
◎ 小児歯科学Ⅱ	2																2	
◎ 小児歯科学基礎実習Ⅰ	1																1	
◎ 小児歯科学基礎実習Ⅱ	1																1	
◎ 障害者・有病者歯科学	2																2	
◎ 成人・高齢者歯科学	2																2	
◎ 摂食・嚥下リハビリテーション学	1																1	
◎ 歯科臨床解剖学Ⅰ	1																1	
◎ 歯科臨床解剖学Ⅱ	1																1	
◎ 歯科臨床解剖学実習Ⅰ	1																1	
◎ 歯科臨床解剖学実習Ⅱ	1																1	
◎ 歯科医療行動科学	1																1	
社会 歯学 系	◎ 衛生行政	1				1												
	◎ 衛生学・公衆衛生学	1					1											
	◎ 社会歯科学	1								1								
	◎ 社会福祉学	1									1							
究 歯学 研 目	◎ リサーチスタートアップ	1				1												
	◎ 歯学研究特論Ⅰ	1								1								
	◎ 歯学研究特論Ⅱ	2									2							

＜歯学科 歯学プログラム＞

科目区分	授 業 科 目	最低修得 単位数	履修年次 (中段：年次/下段：セメスター)												備 考		
			1		2		3		4		5		6				
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
展 開 科 目	◎ 国際歯科医学特論	1											1				
	◎ 口腔機能修復学特論	1											1				
	◎ 応用口腔医学特論	1											1				
	◎ 顎口腔医療学特論	1											1				
	◎ 咬合発達育成学特論	1											1				
	◎ 臨床歯科医学総合演習	2											2				
	◎ 総合歯科医学Ⅰ	1											1				
	◎ 総合歯科医学Ⅱ	1											1				
	◎ 基礎・臨床総合示説	4											4				
	◎ がんの生物学	1											1				
	◎ 救急集中治療医学	1											1				医学部教員開講科目
	◎ 歯学研究実習Ⅰ	2								2							
	◎ 歯学研究実習Ⅱ	4									4						
	◎ 歯学研究実習Ⅲ	2										2					
	◎ 歯学国際演習A	1															奇数セメスターに開講・同一授業科目を重複して単位修得可能
◎ 歯学国際演習B	1															偶数セメスターに開講・同一授業科目を重複して単位修得可能	
臨床実習 科目	◎ 臨床見学演習・実習Ⅰ	1			1												
	◎ 臨床見学演習・実習Ⅱ	2						2									
	◎ 臨床見学演習・実習Ⅲ	1								1							
	◎ 臨床実習（予備実習含む）	42											42				
合 計		231	2	6	23	27	26	31	34	23	16	1	0	42			

(注) ◎は必修科目を示す。

歯学プログラム 卒業要件単位数 268単位

教養教育科目		専門教育科目	
平和科目	2単位	基幹科目	
平和共修科目	1単位	専門基礎科目	11単位
大学教育基礎科目	4単位	生命科学系科目	55単位
共通科目		医学系科目	12単位
領域科目	8単位	総合臨床系科目	76単位
外国語科目		社会歯学系科目	4単位
英語	6単位	歯学研究科目	4単位
		展開科目	23単位
情報・データサイエンス科目	4単位	臨床実習科目	
健康スポーツ科目	2単位	臨床見学演習・実習Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ	4単位
基盤科目	10単位	臨床実習（予備実習含む）	42単位
教養教育科目小計	37単位	専門教育科目小計	231単位

歯学プログラムにおける学習の成果

評価項目と評価基準との関係

学習の成果		評価基準		
評価項目		極めて優秀(Excellent)	優秀(Very Good)	良好(Good)
知識・理解	(1) 人文科学や自然科学などの一般教養に関する知識・理解	各科目の内容を全て正確に説明でき、さらに学びを深めて展開できる。	各科目の内容を全て正確に説明できる。	各科目の内容のほとんどを説明できる。
	(2) 医の原則に関する知識	各科目の内容を全て正確に説明でき、さらに学びを深めて展開できる。	各科目の内容を全て正確に説明できる。	各科目の内容のほとんどを説明できる。
	(3) 基礎及び臨床歯科医学に関する知識	各科目の内容を全て正確に説明でき、さらに学びを深めて展開できる。	各科目の内容を全て正確に説明できる。	各科目の内容のほとんどを説明できる。
	(4) 隣接医学に関する知識	各科目の内容を全て正確に説明でき、さらに学びを深めて展開できる。	各科目の内容を全て正確に説明できる。	各科目の内容のほとんどを説明できる。
	(5) 生命科学に関する知識	各科目の内容を全て正確に説明でき、さらに学びを深めて展開できる。	各科目の内容を全て正確に説明できる。	各科目の内容のほとんどを説明できる。
	(6) 外国語と外国文化に関する知識・理解	各科目の内容を全て正確に説明でき、さらに学びを深めて展開できる。	各科目の内容を全て正確に説明できる。	各科目の内容のほとんどを説明できる。
能力・技能	(1) 歯科領域の疾患の予防・診察・検査・診断・治療に関する基本的技能	実習等において、基礎的知識を予習した上で積極的かつ探求的態度で臨み、学びを深めて展開することができる。レポートなどの作成においては、事象を客観的に評価考察し、さらに今後の課題についても客観的に考えることができる。	実習等において、態度が良好で学んだことを原理原則に基づいて応用することができる。レポートなどの作成においては、事象を客観的に評価考察することができる。	実習等において、態度が良好で、学んだことを原理原則に基づいて、展開することができる。レポートなどの作成においては、事象を客観的に記述することができる。
	(2) 実験や発表を行うために必要な基本的技能	実習等において、基礎的知識を予習した上で積極的かつ探求的態度で臨み、学びを深めて展開することができる。レポートなどの作成においては、事象を客観的に評価考察し、さらに今後の課題についても客観的に考えることができる。	実習等において、態度が良好で学んだことを原理原則に基づいて応用することができる。レポートなどの作成においては、事象を客観的に評価考察することができる。	実習等において、態度が良好で、学んだことを原理原則に基づいて、展開することができる。レポートなどの作成においては、事象を客観的に記述することができる。
	(3) 生命科学や歯科医学の情報を適切に取捨選択・論理的に整理・発信する技能	十分に実践でき、さらに自ら課題を見つけて学習することができる。	十分に実践することができる。	実践することができる。
総合的な力	(1) 豊かな人間性、専門職の歯科医師としての責務の理解、これを実践するための基礎的知識、技能、態度を含む総合力	歯科医師として、適切な医療を指導医の下で十分に実践でき、さらに自ら課題を見つけて学習することができる。	歯科医師として、適切な医療を指導医の下で十分に実践することができる。	歯科医師として、適切な医療を指導医の下で実践することができる。
	(2) 研究の重要性の認識、科学的思考力と創造性	生命科学に関連した課題を自ら探索し、科学的手法を用いて解決することができる。	生命科学に関連した課題を探索し、科学的手法を用いて解決することの重要性とプロセスを十分に説明することができる。	生命科学に関連した課題を探索し、科学的手法を用いて解決することの重要性とプロセスを説明することができる。
	(3) 批判的思考力と問題解決能力、及び生涯学習能力	歯科医師として、科学的根拠に基づく適切な治療を自ら選択・学習することができる。	歯科医師として、科学的根拠に基づく適切な治療を選択・学習することの重要性と方法を十分に説明することができる。	歯科医師として、科学的根拠に基づく適切な治療を選択・学習することの重要性と方法を説明することができる。
	(4) 患者や家族、他の医療者との適切なコミュニケーション能力	歯科医師として患者や家族に対して全人的に向き合い、医療スタッフにも尊敬をもって接することにより、適切な信頼関係を築くことができる。	歯科医師として十分に患者や家族に対して全人的に向き合い、医療スタッフにも尊敬をもって接することができる。	歯科医師として患者や家族に対して全人的に向き合い、医療スタッフにも尊敬をもって接することができる。
	(5) 歯科医療に関連した社会の変化や科学の進歩への対応能力	幅広い教養と適応力を備え、社会情勢の変化や医療技術の革新に対応することができる。	幅広い教養と適応力を備え、社会情勢の変化や医療技術の革新に対応することの必要性を十分に説明することができる。	幅広い教養と適応力を備え、社会情勢の変化や医療技術の革新に対応することの必要性を説明することができる。
	(6) 多様な文化・領域との共存と連携、国際交流能力	多様な文化・領域への十分な共感と理解があり、国際社会で自己の見解を説得的に主張することができる。	多様な文化・領域への共感と理解があり、国際社会で自己の見解を表明することが十分にできる。	多様な文化・領域への共感と理解があり、国際社会に参加することができる。

主専攻プログラムにおける教養教育の位置づけ

専門教育を受けるための学問的基盤を作ると共に、人文科学、社会科学、語学などを幅広く学んで知識を修得し、知的好奇心と知的行動力を養う。さらにコミュニケーション能力や協調性、情報収集能力、生命の倫理や専攻に関する考えを身につけ、医療人としての基礎を築く。

歯学プログラムカリキュラムマップ

学習の成果		1年		2年		3年		4年		5年		6年		
評価項目		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
能力・技能	歯科領域の疾患の予防・診察・検査・診断・治療に関する基本的技能			臨床見学演習・実習Ⅰ (◎)			衛生学・口腔衛生学基礎実習Ⅰ (◎)	歯内療法・保存修復学基礎実習Ⅰ (◎)	歯列補綴治療学基礎実習Ⅰ (◎)	総合歯科医療学Ⅰ (◎)	臨床実習 (予備実習含む) (◎)	臨床実習 (予備実習含む) (◎)	臨床実習 (予備実習含む) (◎)	
							衛生学・口腔衛生学基礎実習Ⅱ (◎)	歯内療法・保存修復学基礎実習Ⅱ (◎)	歯列補綴治療学基礎実習Ⅱ (◎)	総合歯科医療学Ⅱ (◎)				
							歯科放射線学基礎実習 (◎)	歯周療法基礎実習Ⅰ (◎)	部分無歯顎補綴治療学基礎実習Ⅰ (◎)		臨床実習 (予備実習含む) (◎)			
							歯科麻酔学基礎実習 (◎)	歯周療法基礎実習Ⅱ (◎)	部分無歯顎補綴治療学基礎実習Ⅱ (◎)					
							臨床見学演習・実習Ⅱ (◎)	歯冠補綴治療学基礎実習Ⅰ (◎)	顎口腔医療学基礎実習Ⅰ (◎)					
								歯冠補綴治療学基礎実習Ⅱ (◎)	顎口腔医療学基礎実習Ⅱ (◎)					
								無歯顎補綴治療学基礎実習Ⅰ (◎)	顎口腔医療学基礎実習Ⅲ (◎)					
								無歯顎補綴治療学基礎実習Ⅱ (◎)	顎口腔医療学基礎実習Ⅳ (◎)					
									歯科矯正学基礎実習Ⅰ (◎)					
									歯科矯正学基礎実習Ⅱ (◎)					
実験や発表を行うために必要な基本的技能		局所解剖学Ⅰ (◎)	組織学実習Ⅰ (◎)	口腔生化学実習 (◎)	口腔微生物学・免疫学実習 (◎)			歯学研究実習Ⅰ (◎)	歯学研究実習Ⅱ (◎)	歯学研究実習Ⅲ (◎)				
		局所解剖学Ⅱ (◎)	組織学実習Ⅱ (◎)	口腔生理学実習 (◎)	薬理学実習 (◎)									
		解剖学実習Ⅰ (◎)	歯の形態学実習 (◎)	歯科理工学実習Ⅰ (◎)	口腔病理学実習Ⅰ (◎)									
		解剖学実習Ⅱ (◎)		歯科理工学実習Ⅱ (◎)	口腔病理学実習Ⅱ (◎)									
生命科学や歯科医学の情報を適切に取捨選択・論理的に整理・発信する技能	大学教育基礎科目 (◎)			医療情報処理学 (◎)		特別科目 (◎)	歯学研究実習Ⅰ (◎)	歯学研究実習Ⅱ (◎)	歯学研究実習Ⅲ (◎)	臨床実習 (予備実習含む) (◎)	臨床実習 (予備実習含む) (◎)	臨床実習 (予備実習含む) (◎)		
										臨床実習 (予備実習含む) (◎)				
総合的な能力	豊かな人間性、専門職の歯科医師としての責務の理解、これを実践するための基礎的知識、技能、態度を含む総合力	領域科目 (◎)	領域科目 (◎)	平和科目 (◎)	医療情報処理学 (◎)	口腔微生物学・免疫学実習 (◎)	特別科目 (◎)	歯科医療安全学 (◎)	災害歯科医学・歯科法医学 (◎)	口腔機能修復学特論 (◎)	救急集中治療医学 (◎)	臨床実習 (予備実習含む) (◎)	臨床実習 (予備実習含む) (◎)	
		健康スポーツ科目 (◎)	健康スポーツ科目 (◎)	医療倫理学 (◎)	口腔生化学実習 (◎)	薬理学実習 (◎)	衛生学・口腔衛生学基礎実習Ⅰ (◎)	歯内療法・保存修復学基礎実習Ⅰ (◎)	歯列補綴治療学基礎実習Ⅰ (◎)	応用口腔医学特論 (◎)	臨床実習 (予備実習含む) (◎)			
		基礎科目 (◎)	基礎科目 (◎)	免疫学 (◎)	口腔生理学実習 (◎)	口腔病理学実習Ⅰ (◎)	衛生学・口腔衛生学基礎実習Ⅱ (◎)	歯内療法・保存修復学基礎実習Ⅱ (◎)	歯列補綴治療学基礎実習Ⅱ (◎)	顎口腔医療学特論 (◎)				
		解剖学 (◎)	局所解剖学Ⅰ (◎)	組織学・口腔組織学 (◎)	歯科理工学実習Ⅰ (◎)	口腔病理学実習Ⅱ (◎)	歯科放射線学Ⅱ (◎)	歯周療法基礎実習Ⅰ (◎)	部分無歯顎補綴治療学基礎実習Ⅰ (◎)	咬合発達学特論 (◎)				
			局所解剖学Ⅱ (◎)	組織学実習Ⅰ (◎)	歯科理工学実習Ⅱ (◎)	放射線生物学・放射線健康リスク科学 (◎)	歯科放射線学基礎実習 (◎)	歯周療法基礎実習Ⅱ (◎)	部分無歯顎補綴治療学基礎実習Ⅱ (◎)	臨床歯科医学総合演習 (◎)				
			解剖学実習Ⅰ (◎)	組織学実習Ⅱ (◎)	微生物学Ⅰ (◎)	内科学Ⅰ (◎)	診断・検査学 (◎)	口腔インプラント学 (◎)	顎口腔医療学基礎実習Ⅰ (◎)	総合歯科医療学Ⅰ (◎)				
			解剖学実習Ⅱ (◎)	歯の形態学 (◎)	微生物学Ⅱ (◎)	内科学Ⅱ (◎)	歯科麻酔学 (◎)	歯冠補綴治療学基礎実習Ⅰ (◎)	顎口腔医療学基礎実習Ⅱ (◎)	総合歯科医療学Ⅱ (◎)				
				歯の形態学実習 (◎)	免疫学 (◎)	外科学Ⅰ (◎)	歯科麻酔学基礎実習 (◎)	歯冠補綴治療学基礎実習Ⅱ (◎)	顎口腔医療学基礎実習Ⅲ (◎)	基礎・臨床総合示談 (◎)				
				人類遺伝学 (◎)	歯科薬理学Ⅰ (◎)	外科学Ⅱ (◎)	歯内療法Ⅰ (◎)	無歯顎補綴治療学基礎実習Ⅰ (◎)	顎口腔医療学基礎実習Ⅳ (◎)	がんの生物学 (◎)				
				口腔生化学Ⅰ (◎)	歯科薬理学Ⅱ (◎)	眼科学 (◎)	歯内療法Ⅱ (◎)	無歯顎補綴治療学基礎実習Ⅱ (◎)	歯科矯正学基礎実習Ⅰ (◎)	臨床実習 (予備実習含む) (◎)				
				口腔生化学Ⅱ (◎)	口腔病理学Ⅰ (◎)	耳鼻咽喉科学 (◎)	保存修復学Ⅰ (◎)	口腔外科学Ⅰ (◎)	歯科矯正学基礎実習Ⅱ (◎)					
				口腔生理学Ⅰ (◎)	口腔病理学Ⅱ (◎)	皮膚科学 (◎)	保存修復学Ⅱ (◎)	口腔外科学Ⅱ (◎)	小児歯科学基礎実習Ⅰ (◎)					
				口腔生理学Ⅱ (◎)	医科歯科分子生物学 (◎)	精神科学 (◎)	歯周病Ⅰ (◎)	顎外科学Ⅰ (◎)	小児歯科学基礎実習Ⅱ (◎)					
				歯科理工学Ⅰ (◎)	基礎ゲノム医学 (◎)	小児科学 (◎)	歯周病Ⅱ (◎)	顎外科学Ⅱ (◎)	歯科臨床解剖学Ⅰ (◎)					
				歯科理工学Ⅱ (◎)	衛生学・公衆衛生学 (◎)	歯科放射線学Ⅰ (◎)	顎機能学 (◎)	歯科矯正学Ⅰ (◎)	歯科臨床解剖学Ⅱ (◎)					
				衛生行政 (◎)		口腔衛生学 (◎)	補綴学Ⅰ (◎)	歯科矯正学Ⅱ (◎)	歯科臨床解剖学実習Ⅰ (◎)					
				臨床見学演習・実習Ⅰ (◎)			補綴学Ⅱ (◎)	小児歯科学Ⅰ (◎)	歯科臨床解剖学実習Ⅱ (◎)					
							義歯補綴学Ⅰ (◎)	小児歯科学Ⅱ (◎)	歯科医療行動科学 (◎)					
							義歯補綴学Ⅱ (◎)	障害者・有歯者歯科学 (◎)	臨床見学演習・実習Ⅲ (◎)					
							社会歯科学 (◎)	成人・高齢者歯科学 (◎)						
							社会福祉学 (◎)	摂食・嚥下リハビリテーション学 (◎)						
							臨床見学演習・実習Ⅱ (◎)							
		研究の重要性の認識、科学的思考力と創造性				リサーチスタートアップ (◎)	歯学研究特論Ⅰ (◎)		歯学研究実習Ⅰ (◎)	歯学研究実習Ⅱ (◎)	歯学研究実習Ⅲ (◎)	臨床実習 (予備実習含む) (◎)	臨床実習 (予備実習含む) (◎)	臨床実習 (予備実習含む) (◎)
							歯学研究特論Ⅱ (◎)				臨床実習 (予備実習含む) (◎)			
		批判的思考力と問題解決能力、及び生涯学習能力	大学教育基礎科目 (◎)						歯学研究実習Ⅰ (◎)	歯学研究実習Ⅱ (◎)	基礎・臨床総合示談 (◎)	臨床実習 (予備実習含む) (◎)	臨床実習 (予備実習含む) (◎)	臨床実習 (予備実習含む) (◎)
									歯学研究実習Ⅲ (◎)					
患者や家族、他の医療者との適切なコミュニケーション能力				対人コミュニケーション論 (◎)	臨床心理学 (◎)				臨床実習 (予備実習含む) (◎)	臨床実習 (予備実習含む) (◎)	臨床実習 (予備実習含む) (◎)	臨床実習 (予備実習含む) (◎)		
				医療コミュニケーション基礎論 (◎)	チーム医療学 (◎)				臨床実習 (予備実習含む) (◎)					
歯科医療に関連した社会の変化や科学の進歩への対応能力	情報・データサイエンス科目 (◎)	情報・データサイエンス科目 (◎)	歯学国際演習A	歯学国際演習B	歯学国際演習A	歯学国際演習B	歯学国際演習A	歯学国際演習B	歯学国際演習A	歯学国際演習B	歯学国際演習A	歯学国際演習B		
	歯学国際演習A	歯学国際演習B				特別科目 (◎)			臨床実習 (予備実習含む) (◎)	臨床実習 (予備実習含む) (◎)	臨床実習 (予備実習含む) (◎)	臨床実習 (予備実習含む) (◎)		
多様な文化・領域との共存と連携、国際交流能力	外国語科目 (◎)	外国語科目 (◎)	歯学国際演習A	歯学国際演習B	歯学国際演習A	歯学国際演習B	歯学国際演習A	歯学国際演習B	国際歯科医学特論 (◎)	歯学国際演習B	歯学国際演習A	歯学国際演習B		
	歯学国際演習A	歯学国際演習B							歯学国際演習A	臨床実習 (予備実習含む) (◎)	臨床実習 (予備実習含む) (◎)	臨床実習 (予備実習含む) (◎)		

専門基礎科目 生命科学系科目 医学系科目 総合臨床系科目 社会歯学系科目 歯学研究科目 展開科目 臨床実習科目 (◎) 必修科目 (○) 選択必修科目 (△) 選択科目

歯学プログラム担当教員リスト

令和8年4月1日現在

メールアドレスは末尾に

@hiroshima-u.ac.jpを追加する。

氏名	職名	担当・講座名称	メールアドレス
寺山 隆司	教授	(歯学)顎顔面解剖学	ryujit
内部 健太	准教授	(歯学)顎顔面解剖学	uchibek
河野 尚平	准教授	(歯学)顎顔面解剖学	kohnos
杉田 誠	教授	(歯学)口腔生理学	sugisan
酒寄 信幸	准教授	(歯学)口腔生理学	sakayori
宮部 梨紗子	助教	(歯学)口腔生理学	rmiya82
宿南 知佐	教授	(歯学)生体分子機能学	shukunam
三浦 重徳	准教授	(歯学)生体分子機能学	miuras
藤本 勝巳	助教	(歯学)生体分子機能学	kfujimo
安藤 俊範	教授	(歯学)口腔顎顔面病理病態学	toando19
古庄 寿子	助教	(歯学)口腔顎顔面病理病態学	furusyou-1217
小松澤 均	教授	(歯学)細菌学	komatsuz
松尾 美樹	准教授	(歯学)細菌学	mmatsuo
吾郷 由希夫	教授	(歯学)細胞分子薬理学	yukioago
浅野 智志	助教	(歯学)細胞分子薬理学	sasano
横山 玲	助教	(歯学)細胞分子薬理学	reiyokoyama
加藤 功一	教授	(歯学)生体材料学	kokato
平田 伊佐雄	助教	(歯学)生体材料学	isao
飛梅 圭	准教授	(歯学)粘膜免疫学	tobi5651
藤井 万紀子	教授	(歯学)ゲノム口腔腫瘍学	fujim
水野 智仁	教授	(歯学)歯周病態学	mizuno
目見田 匠	准教授	(歯学)歯周病態学	tmemida
鷹原 一久	准教授(診療)	(歯学)歯周病態学	kouhara
岩田 倫幸	准教授(診療)	歯周診療科	iwatat
長谷 由紀子	助教	歯周診療科	yukikona
柳本 惣市	教授	(歯学)口腔腫瘍制御学	syana
大林 史誠	助教	(歯学)口腔腫瘍制御学	fumi2390
濱田 充子	助教	(歯学)口腔腫瘍制御学	fumi2390
角 健作	助教	(歯学)口腔腫瘍制御学	ksumi
山崎 佐知子	助教	(歯学)口腔腫瘍制御学	sayamasaki
小泉 浩一	講師	顎・口腔外科	kkoizumi
伊藤 奈七子	助教	顎・口腔外科	nanainc7
森下 廣太	助教	顎・口腔外科	k-morishita
相川 友直	教授	(歯学)口腔外科学	aikawat
水田 邦子	助教	(歯学)口腔外科学	mihta
宮原 佑佳	助教	(歯学)口腔外科学	myhryuka
植月 亮	助教	(歯学)口腔外科学	uetsukiryu
佐久間 美雪	助教	口腔顎顔面再建外科	msakuma
鳴瀬 貴子	助教	口腔顎顔面再建外科	naruset
四道 玲奈	助教	口腔顎顔面再建外科	rena-shido
阿部 泰彦	准教授	(歯学)先端歯科補綴学	abey
吉川 峰加	准教授	(歯学)先端歯科補綴学	mineka
土井 一矢	講師	(歯学)先端歯科補綴学	kazuya17
大上 博史	助教	(歯学)先端歯科補綴学	hiroshi-o
沖 佳史	助教	(歯学)先端歯科補綴学	yos-oki14
小畠 玲子	助教	(歯学)先端歯科補綴学	reiko1122
竹内 真帆	助教	口腔インプラント診療科	mahot
森田 晃司	助教	咬合・義歯診療科	moritak
保田 啓介	助教	咬合・義歯診療科	pota-keisuke1120
谷本 幸太郎	教授	(歯学)歯科矯正学	tkotaro
國松 亮	准教授	(歯学)歯科矯正学	ryoukunimatu
麻川 由起	助教	(歯学)歯科矯正学	yukitann
矢野下 真	准教授	(歯学)歯科矯正学	m-yanoshita
北 大樹	助教	(歯学)歯科矯正学	b54a1223
中谷 文香	助教	(歯学)歯科矯正学	anakatan
廣瀬 尚人	准教授(診療)	矯正歯科	hirose
吉見 友希	助教	矯正歯科	yukimihsoy
小泉 祐真	助教	矯正歯科	ykoizumi
伊藤 翔太	助教	矯正歯科	shota0313

歯学プログラム担当教員リスト

令和8年4月1日現在

メールアドレスは末尾に

@hiroshima-u.ac.jpを追加する。

氏名	職名	担当・講座名称	メールアドレス
柿本 直也	教授	(歯学)歯科放射線学	kakimoto-n
中元 崇	准教授	(歯学)歯科放射線学	tnk
長崎 信一	助教	(歯学)歯科放射線学	or1ymda
大塚 昌彦	助教	(歯学)歯科放射線学	otsuka
島袋 紀一	助教	(歯学)歯科放射線学	ksbukuro
末井 良和	准教授(診療)	歯科放射線科	suei
小西 勝	講師	歯科放射線科	mkonishi
柴 秀樹	教授	(歯学)歯髄生物学	bashihi
吉田 和真	助教	(歯学)歯髄生物学	kayoshida
中西 惇	助教	(歯学)歯髄生物学	nakanishijun
武田 克浩	准教授(診療)	歯科保存診療科	takepon
川柳 智暉	助教	歯科保存診療科	detalman
西藤 法子	助教	歯科保存診療科	r14saito
熊谷 友樹	助教	歯科保存診療科	tkumagai3168
野村 良太	教授	(歯学)小児歯科学	nmomura
岩本 優子	助教	(歯学)小児歯科学	yuko-tulip
秋友 達哉	准教授	(歯学)小児歯科学	takitomo
浅尾 友里愛	助教	(歯学)小児歯科学	yuriaasao
鋸屋 侑布子	講師(診療)	(歯学)小児歯科学	-
花本 博	教授	(歯学)歯科麻酔学	h-hanamoto
清水 慶隆	講師(診療)	(歯学)歯科麻酔学	yshimizu
土井 充	助教	(歯学)歯科麻酔学	doi326
小田 綾	助教	(歯学)歯科麻酔学	aya-danesth2020
大植 香菜	助教	歯科麻酔科	owen-0428
青戸 一司	准教授	医系科学研究科(歯)	kazaoto
加藤 文紀	助教	医系科学研究科(歯)	fkyato
西 裕美	講師(診療)	歯系総合診療科	hiyoko
堀越 励	助教	歯系総合診療科	horiko
吉田 結梨子	講師	口腔健康発育歯科	yoshiyu
宮崎 裕則	助教	口腔健康発育歯科	hiro1906
加治屋 幹人	教授	口腔検査センター	mkajiya
新谷 智章	講師	口腔検査センター	tshintan
吉本 哲也	助教	口腔検査センター	tyoshimoto